



6月園だより

ホームページ <http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/youchien/minamisenju2/>



豊かな学び

園長 立石 晃子

5月17日(金)には年中・年長組が川口グリーンセンターへ、5月23日(木)には年少組が汐入公園へ、親子遠足に出掛けました。両日ともに天気に恵まれ楽しく過ごすことができました。ご協力ありがとうございました。3学年を引率し、遠足のシャボン玉遊びの中で子供たちが学びを深める様子が印象に残りました。どう吹いたらシャボン玉ができるのか、ストローのどちら側に液をつけたらよいのか、たくさんのシャボン玉や大きいシャボン玉をつくるためにはどうしたらよいのか、ずっと空中に浮遊するためにはどの角度でシャボン玉を吹き出せばよいのかなど、一人一人が試行錯誤を繰り返し、理想に向けて取り組んでいました。

先日の保護者連絡会の中で園内研究会についてお話をさせていただきましたが、今年度は「豊かな学びにつながる教師の援助」をテーマに、園では幼稚園教育要領に示された「主体的・対話的で深い学び」を学び、幼児の「どうして?」「どうしたら...」のつぶやきを拾い、保育を展開させています。年少組では、砂場遊びに水を使い始めました。たらいからバケツにシャベルですくって移しますが、なかなか水が溜まりません。早く水を一杯にするには...と砂場道具置き場へ入れ物探しに行く姿がありました。年中組では撒いた種から出てきた芽を見て、「あさがおはちょうちょみたいなのに、ポップコーンは細長いのはどうしてだろう?」と双子葉植物と単子葉植物の違いに気付く姿がありました。年長組では育てていたじゃがいもが早く枯れてしまいました。6月に行うカレー会食で使う予定のじゃがいもです。「もう収穫してしまっているのだろうか?」と疑問をもち、図鑑で調べたり、保護者の方に聞いたりして、「水が足りなかったから枯れちゃった?」「じゃがいもは葉っぱが枯れるとできるんだよ。じゃがいもができたってことじゃないの?」「なんで葉っぱは枯れるのに土の中のじゃがいもはできるんだろう?」などと意見を交わしていました。教員たちは幼児の「どうして?」「どうしたら...」を拾い、どういったプロセスで追及していくか考え実践を重ねているところです。

また、共立女子大学家政学部児童学科教授 白川 佳子先生をお招きし、研修会を行いました。先生から学んだことの一つに「質問力」がありました。子供が興味・関心をもち、より深く物事を追及するようになるために私たち教員は質問する力を磨いていこうということです。教員たちは早速に「どうしてだろう?(疑問の共有)」「どうしたらいいかな?(解決の方策を考えさせる)」とより追及を深める言葉を掛けていました。意識して指導することで、早速に変容が見られています。幼児からは「どうして?」という質問がよく出るようになりました。そして自分なりに理由を予想し、考えを出し合う姿は生き生きとしています。教員はより一人一人が思ったことや感じたこと、どう学びを深めているか、プロセスをじっくり見るようになり、更に幼児理解を深めています。今後ももの・こと・ひとに主体的に関わり心を動かす環境をつくり、試行錯誤を繰り返す姿を支え、学ぶことの楽しさを感じられる幼児を育てていきます。

楽しいこといっぱい！子供たちの園生活

< 3 歳もも組 >

友達と一緒にのお弁当、うれしいね！おいしいね！

長い連休が明け、もも組は元気一杯な声で溢れています。今まで「あの子」と呼んでいた友達に「ちゃん遊ぼう。」と声を掛けたり、何人かで同じマントや風呂敷を身に付けたりと、友達に興味をもち、「友達や先生と一緒に遊ぶと楽しいね！」と感じ始めてきているようです。そして、待ちに待った弁当も始まりました。排泄、手洗いうがいなど、手順を一つ一つ確認しながら弁当の準備を進めています。「あ、卵焼き同じだね。」「おいしいね。」など友達とのおしゃべりも楽しみながら食べています。6月は雨の日が多くなり室内で過ごすことが多くなりますが、遊戯室で体を思い切り動かして遊んだり、天気の良い日は戸外で泥遊びをしたりしながら、全身を使って遊ぶ楽しさやいろいろな感覚を感じられるように援助します。

< 4 歳たんぽぽ組 >

いろいろな遊びがあって楽しいね！やっぱり友達と遊ぶのってわくわくするな

親子遠足後から始まったバス遠足ごっこをはじめ、アイスクリーム屋さんごっこやおうちごっこ、焼肉屋さんごっこなど、今たんぽぽ組では様々なごっこ遊びがいろいろな場所で展開しています。遊びを進める中で、友達と遊びの場を整えたり必要なものを作ったりしながら、友達同士で思いを受け止め合ったりアイデアを認め合ったりして遊ぶことを楽しんでいます。一方、自分の思いがうまく伝えられなかったり、遊びのイメージがすれ違ってしまったりするなど、個々に葛藤している姿も見られ、それぞれの思いに寄り添った援助をしています。片付けの際には、「もっと遊びたい！」「明日もやろう？」と友達と話しながら、楽しかった思いを改めて共有している姿が見られ、『友達と一緒に遊びたい思い』が強まってきていることが日々感じられます。

6月にはいよいよプール活動が始まります。水に触れて遊ぶ心地よさをそれぞれのペースで楽しめるよう丁寧に援助していきながら、友達との関わり方、思いの伝え方にも配慮していきます。

< 5 歳ばら組 >

なぜ？ どうして？ 自分なりに考えたり予測したり...いろいろな考えがあるね！

ツタンカーメンのエンドウマメを収穫して豆ごはんを食べたことを機に、今度は自分たちで新しい野菜を育ててみようかと育てたい野菜を出し合いました。家庭での話題から野菜には植え時があることを知った子供たちは、図鑑を見たり人に聞いたりしながら今植えられる野菜を導き出し、みんなで花屋さんへ野菜の苗を買いに行きました。自分たちで植えて育てている野菜や年中組のときに植えたじゃがいもなど、身近な栽培物の変化に気付いたり疑問に思ったりしたことを教師や友達に伝え自分から図鑑を開いて調べてみようとしたり、「ぼくは～だと思っよ！」と話したりなど、「なぜ？」「どうして？」「知りたい！」という気持ちが溢れ出している年長組です。

これから夏野菜はさらに大きく成長していくことでしょう。野菜の生長だけでなく、様々な遊びや生活をとおして自分なりに考えたり、分かったことがおもしろいと感じたりできる経験をさらに積み重ねていきます。